

◎ 第 112 回定例研究会

7 月 21 日(木)

於:静岡県評会議室

## 韓国映画「明日へ」について

報告者:安 周永 氏(常葉大学法学部 講師)

### ●解説

これは 2007 年に韓国のイーランド・グループが経営する大型スーパーホームエバーのワールドカップ店で実際に起こった出来事です。イーランド・グループがレジ係を外注するため非正規従業員を一方的に大量解雇したことで、非正規職の組合員約 500 名が、510 日間にわたり大型スーパーを占拠してストライキをした、実際の事件が映画の下敷きになっています。

解雇された翌日に「非正規職保護法」が施行されます。これは非正規職で 2 年間働けば、正規職に転換しなければならないというのですが、会社はこの法律を逃れるために施行前に解雇をしたのです。

実際は、執行部を除いて、全員が職場復帰をしました。執行部の犠牲の上に、組合員の雇用が守られたのです。この結果については、日本では勝利だと思う人が多いですが、韓国では勝利と敗北で評価が分かれています。

原題は「カート」です。カートはスーパーによくあるショッピングカートのことです。ラストシーンで、映画の主人公であるパート従業員たちが、カートを何台も重ねることによって、消防の放水による弾圧に立ち向かっていきます。(下写真)



この実際の姿を記録したドキュメンタリー映画「外泊」も日本語字幕付きで DVD が出ています

### ●ストーリー

大手スーパーマーケットに入社 5 年のレジ係ソニは、正社員への登用が決まる。夫が出稼ぎ中で家計は苦しく、遅くまで残業しながら 2 人の子供の育児と家事に奮闘していた。

そんなある日、数十人の女性従業員たちに対して突如、雇用契約の解除が通告される。すべての業務を外部に委託するというのだ。突然の事態に、上司に詰め寄る女性たち。従業員思いの人事チームのカン代理も、悔しさを滲ませる。

やがて彼女たちは、力を合わせて労働組合を結成。ソニに加え、労組に詳しいシングルマザーのヘミ、勤続 20 年のベテラン清掃係スルレの 3 人が交渉役に選ばれる。だが、店長が交渉に応じなかったため、労組側は店舗を占拠してストライキを決行する。

会社はスト阻止を試みたものの失敗し、ついに警官隊が突入する。激しく抵抗しながらも、圧倒的な力で引きずり出されてゆく女性たち。失神したスルレに気づいたカン代理は、自分の立場を顧みずに救出する。不法占拠の罪で警察に連行された女性たちはマスコミから悪者扱いされ、会社に反旗を翻したカン代理は解雇されてしまう。

“契約社員は派遣に、正社員は契約社員にして売却する”。それが会社の目的だった。それを知ったカン代理は、戦いを決意し、労働組合委員長に就任。やがて、不当解雇であることを認めた中央労働委員会が会社側に、解雇した社員の復権を命令。ところが、復職が約束されたのは契約期間が残る 23 名のみ。それ以外は適用されない上に、カン、ヘミ、ソニの 3 人に巨額の損害賠償請求書が送られてきた。

さらに、カンは店長への暴力行為で警察に捕まり、闘争に巻き込まれたヘミの息子は重傷を負って入院、ソニも息子テヨンが家出して家庭崩壊の危機に。絆を深めてきた仲間たちに、分裂の危機が迫るが…。(Movie Walker より)

\*連絡先: 静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

〒422-8062 静岡市駿河区稲川 2-2-1 セキスイハイムビルディング 7F (静岡県評内)

メール [roudouadv@wave.wbs.ne.jp](mailto:roudouadv@wave.wbs.ne.jp) ホームページ <http://www.geocities.jp/shizuokarouken/>